

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公開番号】特開2015-121607(P2015-121607A)

【公開日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-042

【出願番号】特願2013-264230(P2013-264230)

【国際特許分類】

G 03 G 9/087 (2006.01)

G 03 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08 3 3 1

G 03 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月16日(2016.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結着樹脂とワックスを含むトナーであって、

該結着樹脂が、結晶性ポリエステル樹脂及び非晶性ポリエステル樹脂を含み、

該結着樹脂中における該非晶性ポリエステル樹脂の含有量が50質量%以上であり、

該トナーが下記数式(1)~(4)を満たすことを特徴とするトナー：

TgA - TgB 10.0 ( ) . . . (1)

TgC - TgB 5.0 ( ) . . . (2)

TgA 45.0 ( ) . . . (3)

TgC 40.0 ( ) . . . (4)

[上記数式(1)~(4)において、

TgAは、該トナーのガラス転移温度( )を表す。

TgBは、該トナーを150℃に加熱し、加熱終了後5秒以内に液体窒素で冷却し、液体窒素から取り出した後、1分以内に示差走査熱量測定を行うことにより得られるガラス転移温度( )を表す。

TgCは、該トナーを150℃に加熱し、加熱終了後5秒以内に液体窒素で冷却し、その後50℃で20分間保持した後に、示差走査熱量測定を行うことによって得られるガラス転移温度( )を表す。]。

【請求項2】

前記ワックスが炭化水素ワックスである請求項1に記載のトナー。

【請求項3】

前記ワックスの融点Twと前記結晶性ポリエステル樹脂の融点Tcが、下記数式(5)及び(6)を満たす請求項1または2に記載のトナー：

Tc < Tw < 100.0 ( ) . . . (5)

Tw - Tc < 20.0 ( ) . . . (6)。

【請求項4】

前記結晶性ポリエステル樹脂が、結晶核剤部位を有し、

該結晶核剤部位が、炭素数10以上、30以下の脂肪族モノアルコール及び/または炭

素数 1 1 以上、 3 1 以下の脂肪族モノカルボン酸に由来する部位である請求項 1 乃至 3 の  
いずれかの一項に記載のトナー。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかの一項に記載のトナー及び磁性キャリアを含む二成分系現像  
剤。